

寺報

龍正寺

日なた 160号

三界は
皆これ
仏國土
日延



<令和 3年 9月>

宝龍会
護持会

任職一言 (法華經)

暑さも、寒さも、彼岸までと昔から言ひ伝えられてはいます。残暑も、まだ「まだ」続々と思ひますが、水分をしっかりと取ってお過ごし下さい。また、口の菌も拡大してはいます。充分お身体をお気を付けて下さいませ。

妙法蓮華經方便品第二から (妙法蓮華經略義、鈴木修学先生参考)

「諸仏世尊は衆生をして佛知見を開しめ、清淨なることを得せしめんと欲すが故に、世に出現したまう。衆生に佛知見を示さしめんと欲するが故に、世に出現したまう。衆生をして佛知見を悟しめんと欲するが故に、世に出現したまう。衆生をして佛知見の道に入しめんと欲するが故に、世に出現したまう。舍利弗、これを諸佛はただ一人事の因縁をもつての故に世に出現したまうと為す。」

【解説】 仏知見というのは、仏という境遇はもっとも明るく、楽しく、人として生きがいのある生活をすることを知ることである。たとえば「世の中の人々はほんとうに明るく楽しい生活を知らない。それは暗い室にはいるようなものである。仏は明るい、楽しい室に在るもので、暗い室より明るい室に出して楽しい生活をさせてやろうと思われり。そこで明るい室の戸を開いてみせる。これを「開」という。そして明るい室の美しさを見せるこれを「示」という。そして明るい室の方綺麗だ、はいって見たいなと思わせり。これを「悟」という。

その美しい望に自分の力でもって歩いてはもらせる。これを「入」というのである。仏様は涅槃經にもあるように、常に「一切衆生の苦を受くるは悉く是如来一人の苦なり」とおおせられ、その苦しみより脱せしめ、真の楽しみを与えたいと努力してられる。すなわち仏の一大事とは、暗闇の生活、苦しい生活の者をして、明るく楽しい生活に入らせるように導き極楽の世界とするにあるのである。仏様は世の人々が各々仏性をそなえていることを知っていらっしゃる。次の三は仏性の性質である 1. 正因仏性 生れながらにしてそなえている仏と同じ性質。子が親を慕う、親が子を膝のうえに抱きあげる親しみあうという本性。 2. 了因仏性 教によって修養し、学べ、その学によってはらげて、生れながらのよい性質を育てて大きくする、その性質をいう。 3. 縁因仏性 学んただけではならない、よい行を実行して心に喜びを感じ、なるほど楽しい、うれしいものだ、な、とわかって来るそれを縁という。縁により実際に行つて、真実を掴む。これを縁因仏性という。かくの如く学べ、悟り、行うことのできるのには自分に仏性のあるおかげということを知らねばならぬ。これを仏知見というである。かように自分の仏性を自覚し、その仏性を研いていくこと、聞、示、悟、入、せしめるために仏様は世の中に出られたのである。またわれわれもその責任をもって生れて世の中に出たのである。一心仏が世に出られたという目的を説せられた。さらに言葉をあらためて、非常に厳格に申される。そして仏は舍利弗におっしゃった。こうして仏様は見守って下さっています。合掌

南無妙法蓮華經

「そわかの法則」

ず…今前に求めた本です

らく書きがっぱ…です

赤線 青線 がっぱ…引…てあります

乱読の中よりですが忘れてゆく部分があつた

り…何處も精読致します

そ — そうじ

わ — 笑い

か — 感謝

おそいじをして美しくなつて気分もよくなりよう
ですがあわただしく忙しい日々の中でゆくりと

おそいじに時内もかけられず一日か終るよう

です 毎も重ねました 今では肩が…たむ。

うでがよからず しやがむこもまならぬ身体の

おとろえと共に おそいじも出来兼ねぬことと

なつて参りました!!

おそうじの中で一番大事な場所...それは
トイレのようです

排便排尿のおせわになる聖なる場所
トイレの神様「すは明王」さまはとっても
きらい..好きの神さまと学ばしました

龍正寺さんのトイレはいつもピカピカに
光ってますお若い信徒の方が毎朝出勤前に
おそうじの実践をなっていて下さるそうです
心ちよく使用させていただきます心の内でありがとう
ございませと御礼申します

朝 5時半頃より...いつもお参りをさせていただく
お部屋とか玄関などをおそうじをして下さってる
方いらして 龍正寺さんはどしどしこころが美しく
整っています 常にまわりをきれいにしておくとか
よいとかです 神はおそうじをする人がスキ 笑顔の
中の笑い声がスキ 感謝出来る人がスキとか
です

わらい — 笑顔はすてきです

笑顔は人生の花と学びます

笑いはNK細胞を活性化してくれそう
です 良き波動の中で元気で明るく日々を

過ごせられますようにと思ってみます

くしみも、悩みもいろいろいっばい 有ることか

人生の道のように わたくしはいっばい いっばい

有りました...

何かあっても何か起きてもありがとうありがとうと

心でつぶやきそしてお題目で御礼と申し

上げると学びました そんな時に笑いませんか

ニコッ 笑顔をつくりましょう!!

神、仏さまはそんな笑顔を受け止めて下さると

思います

感謝 — 感謝に勝る能力なしと学びました

神、仏さまより尊い守護を賜わります

日々は、そして多くのこと... いっばい... いっばい 恵みを受け

幸せの真中にいられよと等々に有りかたく
勿体なく感謝のよろこびの御礼と
申してゆかねばと存じます
今日も何事もなくふじの1日を有りかたく
過ごさせていただけましたと等々です
「ありがとう」の言葉の中には有りかたさが
いっぱい全じてくるわです

身近な人にありがとうと申してゆけることが
大事のように大事な家族の方がありがとう
をいっぱい笑顔で明るくふるまおう!!
先してユートピアの心で今の自分に幸せて
あふれを感じて心よりのお題目を唱えさせて
いただきますよ 秋の訪れも近くなっています
ますコト禍の中で暑夏もふじにとご守護
いただけましたとぜひ御礼を申します
ありがとうございました

南無妙法蓮華経 合掌



夏休み



長雨もようやく治まり、蒸し暑い日が続いています。
9月といえど、まだまだ暑さは続きますので、水分をしっかりと摂って体調に気を付けてくださいね！

子ども達の夏休みも終わりを迎えます。今年は昨年よりも外出の機会が減り、プールも中止、ラジオ体操も中止。普段の生活で出来ない事にチャレンジしたり、思い出に残る体験をさせてあげたくても出来なかった…後悔の夏休みになってしまった気がしています。お盆休みで実家に帰省してきた娘もかわり、久しぶりに家族で出掛けたいと思っていたが、コロナの感染者数が日に日に急増。そして大雨が続き、断念しました。このお盆期間中に雨が続いたのにも何か理由があるんじゃないか… 外出自粛を呼びかけても中々減らない感染者。感染経路を聞くと、バーベQや多人数での会食と、自分達は大丈夫だろうという考えの人

達の行動が「まだ」まだあるようです。大型連休中、おーっと雨なら出掛ける人も減るだろう…まだ「かからないのか!!」という神仏の叫び「たよ」ではないかと思えて仕方ありませんでした。私達家族も近場で「外で楽しめる場所」と日帰り旅を考えてはいましたが、今はその時期では「たよ」か、たんと「反省」しました。

自宅で子ども達はクッキーを焼いたりゲームをしたり、楽しく過ごしました。天気の良い日には河川敷に行き、体を動かしたり、次男はギターに挑戦したり、振り返ってみれば、後悔ばかりの夏休みでは「たよ」か、たんとおもいます。

一人一人が「自分事」だという気持ちを持ち、一丸と「たよ」って感染予防に努めなければ「いけ」ないと強く思います。新学期、子ども達が「健康で」楽しく過ごせる事を祈るばかりです。

「体を整える時期」

8月に入り、手の押す力が入らなくなり慌てて整形外科を受診しました。数年前から手に力が入りにくい、全身の脱力感、というか疲労感があったのですが、受診の結果は整形外科的には問題ありませんでした。

お世話になっている漢方の先生からは、もしかしたら副腎疲労かもしれないと言われ、今後は内科の受診としました。

以前より漢方の先生に仕事が入り交代であること冷える職場にいることは、私の体にとっては良くないから考えた方がいいと言われていたが、後回しにしていたつゆがとうとう現われたのが今回の出来事でした。

体の調子が悪い時のタイミングは人により違っているので自分自身の体に向きあうことを決め、食生活・生活リズムを表にして、どんな時に症状が出るのか記録するようにしました。

お主人からも、今は、体を整える時期である。

自分の体は自分でしかわからない。自分の体がどの時に調子が悪いのか、把握しておかないと、時に

数値で表わせない不逞言訴は、自分で解決しなくてはいけないこともあるとおしえて頂きました。

漢方の先生に言われたのが、「今後どうしていきたいかの（仕事内容や勤務体制の変更等）答えは、言佳でもない、自分で答えを出さなくてはいけないよ」という言葉が身に残りました。

そうか。自分は意外と他が本願で自分の体のことなのに他人任せであったことに気がつかせてもらいました。

今までは、頑張らなくてはと思って無理をしても頑張ってきましたが、頑張ることがすべて正しい訳ではないかも、迷惑かけるくらいなら SOS を言ってもいいのではないかと考えが変わり、上司に報告・相談することができました。

この先どうなるかわかりませんが、仏様の導きを信じ、精進あるのみです。

～ 生命の力・妙法に感謝 ～

7月21日 早朝 主人が救急搬送されました。

2～3日前から、少し体調が気になっていたのですが、主人に受診を促していたのですが、主治医の担当日まで待つと頑なでした。

そしてその朝、診察開始時間まで待てる状態ではなくなり「119番」!! 救急室へ運ばれました。

コロナ対策もあり、離れた待ち合室で待機しました。

何度も経験してはいますが、この状況は決して慣れるものではありません。これほどの時間が経ったか…。

ようやく医師に声をかけられました。その声は今日診てもうつもりだった主治医でした。外来日なのでこの時間に、主治医が救急外来にはいないはずだと思いました。すると
”用事があってね、30分程前に病院に来てたんですよ。”

”以前の血管部分がかなり細くなって心筋硬塞になっています。すぐ処置に入りますね。”と言われました。

冠動脈がぼろぼろになっている為、全てが命かけでの治療です。

そこには、心臓手術に対応して下さった医師も…

“外来へ行く前に見ていくから大丈夫だよ。”と声をかけて頂きました。

“あー!! あの去年のカテーテル手術の時と一緒だ。”再び彼の運の強さに痛感しました。

無事成功。しかし、翌日主治医が、ろれつがまわっていない! 言葉が上手く出ていない! と気づいて下さり、脳外の医師・スタッフと対応して頂きました。脳動脈瘤があり、経過観察中の為緊張が走ったそうです。しかし脳硬塞でした。主人の場合、心臓の事もあり、治療は困難。服薬のみとなりました。わかっていたもののショックでした。その上、今回は後遺症があり、失語・高次機能障害になりました。

これからどうしよう。言葉がでない。会話が理解できなり等…。在宅復帰が出来るか、心配の日々でした。

今はリハビリ病院へ転院、しかし、転院先でコロナ感染者が出た為、リハビリは当面中止、病室からは出れなくなりました。

佐口上人に相談すると、“大丈夫ですよ。御祈願してまいりますよ。思わぬ出来事もマケスにとらえず、プラスの為には

必要な事として受け入れて下さいね。”と言われました。

少しでも会話ができる様にと、家族・佐口上人も携帯を掛けて下さいました。言語トレーニングで言葉を使う事、下肢筋力低下防止の為、ストレッチの声かけなどしました。今の主人の出来る力を損なわない様にとの思いで必死でした。

すると、少しずつ会話の中での言葉も増えてきました。自ら携帯を掛けてくれたり、ラインも一語ずつですが、入れる事が出来る様になりました。また、判断力等専門職でないと出来ない治療は多くあります。

松葉ヶ谷法難会の日、ラインで“今日は松葉ヶ谷法難会、”と入っていました。気づくのが遅く、当日の法難会を忘れていた事を主人に連絡すると、大きな笑い声がありました。

日蓮宗カレンダーを病室みて連絡したとの事でした。”病室で御題目を書くとから、紙とペンがほしい。”と連絡がありました。

主人が書きはじめた翌日より、リハビリ再開となりました。

病気の症状は安定していますが、決して完治は出来ません。

しか、彼は穏やかに以前よりも日々感謝しています。主人の姿に生きていく力を感じます。

龍正寺の諸天神様のおかげ、佐口上人のおかげ、皆様の「おかげ」で死を何度も直面した主人も病室で御題目行にはげんでいます。

主人の生命力は南無妙法蓮華経です。

親子孫3世代で御題目を唱えぬる事にたいなる喜び俵せを感じています。

孫達がかわいい声で「南無妙法蓮華経」、主人に早く聞かせてあげたいと願ひ、私も「南無妙法蓮華経」

< 9月行事予定 >

9月13日(月) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
鬼子母尊神) 祈禱会
七面大明神)
龍口法難会
大古尊天祈願会

9月23日(木) 13:00~ 秋季彼岸中日法要会

< 9月住職の予定 >

寺院にて法務。皆様方の御参拝をお待ちしております。

< 9月の予定 >

9月6日(月)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
12日(日)		
13日(月)	法要後	片付け、準備
14日(火)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
22日(水)		

10月御会式会に向けて、お万燈製作が始まっています。

参拝の際はいつでも結構ですので、お花を広げて頂けると

嬉しく思います。皆さんの手で1つのお万燈を奉納させて頂きましょ!!